



JAXA種子島宇宙センターを視察

## ◎ごあいさつ

2015年の幕開けとなり、皆様におかれましては、ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。先月実施された衆議院総選挙では、安倍政権と経済政策アベノミクスの継続が支持されました。今後は岐阜県経済にも景気回復を実感できるような成果を期待するとともに、私も県議会議員として中小企業支援策等の推進に取り組んでまいります。皆様のご厚情に感謝申し上げますとともに、本年も「小さな声」を大切に、「人が生きる地方創生」の実現に向け頑張る所存です。ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

岐阜県議会議員 **水野吉近**

## ◎ 2014年12月15日 古田肇県知事へ来年度県予算要望を実施

古田肇県知事に対し、95項目にわたる平成27年度予算要望を提出しました。主なものは、高齢者等が安心して暮らせる「地域包括ケアシステム」の構築推進、安全・安心の医療に対する医師・看護師不足の解消、大規模自然災害を想定した危機管理体制の確立、小規模企業への技術開発から販路開拓までの一貫支援、社会インフラの老朽化対策と空き家の利活用、幼児教育の負担軽減策の推進、危険ドラッグの取締強化などです。県民の安全安心を確保し、社会的弱者の立場に立った施策の充実に向け、取り組んでまいります。



## ◎ 2014年12月11日 平成26年 第5回岐阜県議会定例会で質問



### 防犯ボランティア活動の支援について

- 地域の安全を確保するためには、地域住民と警察や行政機関が連携した取り組みを行う必要がある。現在多くの県民によるパトロール等の自主防犯活動が活発に行われている。これにより地域の連帯感やコミュニティが強化されることも期待されている。
- 犯罪を未然に防ぐには“小さな変化”に気づく力を持っている“地域目”を張り巡らせ、その情報が素早く伝わって適確な措置を取ることが重要である。
- 防犯ボランティア団体に対し、犯罪発生情報の提供などきめ細かな支援をより一層推進すべきである。

#### 答弁) 環境生活部長(要旨)

● 防犯ボランティア団体の活動を支援し普及促進を図るため、活動の際に身に付けるベストや腕章の支給、防犯アドバイザーの派遣、さらには地域連携会議を開催し、防犯ボランティア団体との情報共有や意見交換を行っている。今後もさらなる広がりを促進し支援に努める。

#### 答弁) 警察本部長(要旨)

- 県内の防犯ボランティア団体は、平成25年末で1,230団体、構成員数で約7万人、青色回転灯活用団体は111団体、車両241台と大幅に増加している。これにより県下の刑法犯認知件数は、ピーク時の平成14年と比較してその半数以下に減少しており、治安の回復に大きな効果をもたらす一因となっている。
- 県警としては防犯ボランティアに対し、パトロール活動のノウハウの教示や警察等との合同パトロールの実施、パトロール用の資機材の提供、安全・安心メールや犯罪発生マップなどによる地域ごとのきめ細かな防犯情報の発信などを実施している。
- 今後とも、防犯ボランティアとの連携を図り、活動の活性化や自主防犯意識の向上を図るため積極的な支援に努める。